

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画		
時期	2年B巡	単元	学科	教科名	電装品整備B
科目	自動車整備関連	教科書等 持参品		発行日	2026年4月1日
総時限	14時限			教科 担当	中川
総時間	22.4時間				木藤
単位数	1				
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当					
自動車整備士として、電装品整備の実務経験がある教員により電装品の構造、作動について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
①計器の概要、構造、作動を理解する ②空気調和装置の概要、構造、作動を理解する ③安全装置の概要、構造、作動を理解する					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）					
①計器の概要、構造、作動について理解できる ②外部診断器や自己診断機能の概要、構造、作動について理解できる ③空気調和装置の概要、構造、作動について理解できる ④安全装置の概要、構造、作動について理解できる					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。 					
5. 準備学習					
3級総合の同一分野の復習を事前に済ませておく 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。					
6. 学修時間と単位					
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。					

